

### 三大学連携図書館プロジェクトミーティング（千葉大、お茶大、横国大）

千葉大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学は、図書館の教育・研究支援機能の充実及び高度化に向けた申合せによる協働事業の一環として、去る 11 月 27 日に三大学連携図書館プロジェクトミーティングを千葉大学附属図書館で開催した。

三大学の図書館では「アクティブ・ラーニング支援機能」「オープンアクセス」「電子資料の効率的な共同導入」「紙媒体資料の効率的な共同保存（シェアード・プリント）」など、大学図書館の諸課題について作業部会を設置し、協働して課題解決に取り組んでいる。本ミーティングでは、まず深貝保則横国大附属図書館長が「知の様式の変化と大学図書館」と題した講演を行った後、三大学が連携するに至った経緯、各作業部会の活動内容と今後の展望について紹介があった。引き続き、各作業部会の活動についてワークショップを行った。

三大学の図書館職員をはじめ、国内各地から図書館関係者がミーティングに参加し、時には笑い声も漏れ出す和やかな雰囲気の中で活発な議論が交わされた。参加者からは、「自分が参加していない部会の様子がよくわかった（三大学関係者）」「自機関に持ち帰って検討したい（他大学図書館職員）」との感想が聞かれた。

また、ミーティングに先立って、会場となった千葉大図書館（本館）の見学会が行われた。見学希望者は、特に最も新しく改修されたL棟と利用者の様子をじっくりと見学していた。

三大学の図書館では、ワークショップで話し合われた意見を踏まえ、課題解決の手法開発に取り組み、継続的に情報発信することとしている。



ミーティングの様子